

合同会社 ころ

KID'S サポートスターシップ

児童発達支援・放課後等デイサービス支援プログラム

(令和6年12月10日作成)

法人理念

一人一人の心や個性を大切に

支援方針

楽しく遊ぶ、個性を育む、楽しく遊ぶをモットーに

日常生活に必要なマナーやコミュニケーション能力を身に付け社会で自立するお手伝いとご家族が安心できる療育支援を提供します

営業時間・送迎

月～金

9：30～18：30（送迎有）

土祝・長期休み

8：30～17：30（送迎有）

〈本人支援〉

本人支援とは、障がいのある子どもの発達の側面（正面に対して、別の角度から見た面。客観的に観察）から健康や生活に関する（認知・行動）言語・コミュニケーションの獲得に関する領域（言語・コミュニケーション）人との関わりに関する（人間関係・社会性）の 5 領域を相互に関連づけた支援プログラム。本人支援の大きな目標として障がいのある子どもが、将来、日常生活や社会生活を円滑に営めるようになること。

健康・生活

- ・健康状態の維持と改善
- ・生活のリズムや生活習慣の形成
- ・基本的な生活スキルの獲得

支援内容

トイレ、排泄、着脱、手洗い、うがい、食事、準備

食事のマナー、身だしなみ、排泄等身辺自立の向上

運動・感覚

- ・姿勢と運動、動作の向上
- ・姿勢と運動、動作の補助的手段の活用
- ・保有する感覚の総合的な活用
- ・日常生活や学習活動における支障を軽減し自己肯定感を高める

支援内容

運動サーキットや音楽サーキット（歩く・走る・跳ぶ・くぐる・引っ張る・押す・登る・音を聞いて曲に合わせて身体を動かす、身体を動かす事を喜ぶ）

体操やダンス（全身を使う）

座る姿勢、文字を書く時の姿勢の確認と保持

触覚や人との距離を身に付けられるようなボディーコントロールを促した活動

（トランポリンやトンネル・フラフープくぐり）

姿勢の中心軸が真っ直ぐになり、姿勢の崩れを改善する・自己刺激行動の減少

身体の動かし方がなめらかになる事で、ぶつかる事や転ぶ事が減る

認知・行動

- ・ 認知の発達と行動の習慣
- ・ 空間・時間・数等の概念形成
(概念-物事を「かたまり」や「ルール」として理解していく事)
- ・ 対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の取得

支援内容

五感の活用（季節の制作や廃材作成・感触遊び・ゲーム）動物・生活用具

食べ物等のカードを用いた物の名称の取得、危険な事と安全な事の理解

粘土やスライムによる物質の変化と感覚の認知・ブロック遊びによる

空間把握の認知

季節への興味、関心が持てるような外出・行動

言語・コミュニケーション

- ・ 言語の形成と活用
- ・ 言語の受容及び表出
- ・ コミュニケーションの基礎的能力の向上
- ・ コミュニケーション手段の選択と活用

支援内容

絵本、物の名称と言葉の一致、行動と言葉の意味の一致

伝言ゲームなどを活用し言葉を伝える

(絵カード・言葉カード・言語カード・数字カード・表情カード)

ルールなどを絵カードを使って視覚化

相手とのコミュニケーション作り、身振り、手振り、

言葉等で自分の思いを伝えられる環境作り

始まり会でのあいさつ、帰りの会で

(学校や園、事業所での楽しかった事や頑張った事)

振り返り、自分の言葉で伝える

人間関係・社会性

- ・他者との関わり（人間関係）の形成
- ・自己の理解と行動の調整
- ・仲間作りと集団への参加

支援内容

家族ではない他者との関係作り、支援者お友達の真似っこ遊び、
ごっこ遊び、集団でのゲーム（ルールのあるゲーム）、触れ合い遊び、
事業所外でのお出かけ（公園・買い物・他事業所・他保育園など・
その他の公共施設。図書館・散歩）欲求を適切に満たし安定した環境の中で
過ごす、自分から何かをしてみようという気持ちを育てる

〈家族支援〉

家族支援とは、障がいのある子どもを育てる家族に対して、障がいの特性に配慮し、子どもの「育ち」や「暮らし」を安定させる事を基本とし保護者が子どもの発達を心配する気持ちを出発点とし、障がいがあっても子どもを育ちを支えていける気持ちが持てるようになるまでの過程において、関係者が十分な配慮を行い、日々子どもを育てている保護者の思いを尊重し、保護者に寄り添いながら、子どもの発達支援に沿った支援プログラム

- ・ 家族からの相談に対する適切な助言やアタッチメント形成（愛着行動）

等の支援

- ・ 子育て上の課題の聞き取りと必要な助言
- ・ 子どもの発達上の課題についての気づきの促しとその後の支援
- ・ 子どもを支援する輪を広げる為の橋渡し
- ・ 相談支援専門員との定期的な支援会議や支援計画の調整
- ・ 関係者。関係機関との連携による支援体制の構築
- ・ 家族支援プログラム（個別の面談など）の実施

家族が安心して子育てを行う事ができるよう、様々な家族の負担を軽減していく為の物理的及び心理的支援等を行う。

大きなストレスや負担にさらされている母親が中心となる場合が多いが、父

親や兄弟、姉妹、さらに祖父母など家族全体を支援する

子どもの障がいの特性を理解の前段階として（気づき）の支援も重要な家族支援の内容であり、個別性に配慮して慎重に行う

家族支援において明らかとなってくる虐待（ネグレクトを含む）の疑いや心理カウンセリングに必要性など、専門的な支援が必要な場合は適切に対応を行う

家族支援を実施する際には必要に応じて、関係機関と連携を行って実施する

〈移行支援〉

移行支援とは地域社会での生活する平等の権利、地域社会への参加、包容（インクルージョン）の考え方に達、障がいの有無にかかわらず、全ての子どもが友に成長できるよう、障がいのある子どもに対する（移行支援）を行い可能な限り、地域の保育、教育の支援を受けられるようにしていくと共に
同年代の子どもとの仲間作りを図っていける為のプログラム

- ・ 保育園・こども園への配慮された移行支援
- ・ 移行先（保育園・こども園・学童・地域学童など）との連携
- ・ 同年代の子どもとの仲間作り

ライフステージに合わせた移行準備や地域のつながりを一緒に考えていく

具体的な移行先との調整

家族への情報提供や移行先での環境調整

移行先との援助方針や支援内容などの共有、支援方法の伝達

移行先の受け入れ体制作りへの協力

相談支援などによる移行先への支援

〈地域支援・地域連携〉

地域支援とは、障がいがある子どもの地域社会への参加・包容（インクルージョン）を推進する為、保育園、こども園、学童、地域の学童等の子育て支援機関等の関係機関との連携を進め、地域の子育て環境や支援体制の構築を図る為の支援プログラム

・保育園・こども園や学校等や障がい福祉サービス事業所と連携して子どもや家族の支援をまとめてサポートする

保育園・こども園等の子育て支援機関との連携

専門機関との連携

教育機関の関係者等との連携

地域支援体制の構築の為の会議へ出席

保育所等訪問支援の実施

〈職員の質の向上〉

管理者・児童発達支援管理責任者向けの研修

事業所内支援会議（時間短縮勤務従業者へ会議内容の共有）

虐待防止研修と身体拘束等の適正化研修・感染症に関する研修

災害・不審者・防災等に関する研修・療育に関する研修

他事業所との合同リズム体操の研修

外部（ZOOM等）派遣の研修

〈主な行事〉

季節（春夏秋冬）に合わせたイベント

初詣・花見・節分・ひな祭り・プール遊び・ハロウィン・クリスマス

地域との交流（地域の公民館で夏祭り）

保護者参加の活動

（運動会・発表会・クッキング・ビーチパーティー等）

職業体験

訓練（防災・災害・不審者）

他事業所との交流（リズム遊び・さくらさくらんぼ体操）